

(別記様式第15号)

## 令和3年度「子どもの居場所」木質空間整備事業進捗状況報告書

事業 主体名	社会福祉法人まるこ福祉会 実務者(説明者)氏名：石曾根久晴
-----------	----------------------------------

No.	事業項目	事業名
3	県産材利用促進に関する取組	令和3年度「子どもの居場所」木質空間整備事業
事業費：6,600千円（うち森林づくり県民税：2,495千円）		

**事業目的**

## (1) 地域の森林・林業の現状と課題

県産材の認知を広げる拠点がなく、触れる機会がないために、十分な認知が広がっていない。地域の子供のたちが集まれる拠点が無い。

## (2) 本事業の目的

あったか空間「きらり」に県産材のツリーハウスと木育テラスを設置し、地域に広く開放。子どもレストランや、当施設を利用するサークル、子どもの一時預かり等に集う子どもに居場所を提供し、さらにはイベント開催をすることで、県産材利用の普及促進と情報発信を図ることを目的とする。

**事業内容**

(1) 実施場所：社会福祉法人まるこ福祉会 障がい者福祉事務所 とんぼハウス

(2) 対象者：社会福祉法人まるこ福祉会

(3) 実施方法：ツリーハウスと木育テラスを作る

## (4) 事業目標及び当年度事業量

## ①全体計画（3年度～3年度）

ツリーハウス&木育テラス整備

## ②B 事業実施中



【現況写真】



【完成イメージ図】

## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

新型コロナウイルスの影響で大きなイベントは開催できていないが、人数を制限するなどして開催したイベント等を通じて、利用を促進する。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

整備した「ツリーハウスと木育テラス」を拠点に、周囲の整備。今後は認知向上、地域拠点としての居場所づくりをすることで、地域に根ざした場所になる。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

道路に面しているので、視認性も高く、認知されやすい。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

### (2) 課題

### (3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 事業の制度等に対する要望等

○ SNS の共通ハッシュタグなど、点ではなく面での認知向上が図れると思います。

○

○

○